



The Baseball Hall of Fame and Museum

公益財団法人 野球殿堂博物館

2019年野球殿堂入り表彰式 ～特別表彰～

館長 庄司 正信



左より 斉藤 惇理事長、脇村 春夫氏、八田 英二会長、脇村氏ご長女・脇村 由紀氏

特別表彰委員会選出の脇村 春夫さんの野球殿堂入り表彰式を、台風10号の影響で順延となったため、8月16日(金)に甲子園球場で行いました。当日は第101回全国高等学校野球選手権大会10日目で、第1試合(岡山学芸館対 作新学院)と第2試合(東海大相模対 中京学院大中京)の間に行われました。

脇村さんは、1949年の夏の甲子園大会に湘南高校(神奈川)の選手として出場し、初出場で初優勝されました。その後、東京大学に進学され、硬式野球部で4年次には主将としてご活躍。卒業後は東洋紡績株式会社(当時)に入社され55年の都市対抗野球ではベスト8に貢献されました。2002年には日本高等学校野球連盟の第5代会長に就任、04年にプロ野球と「新人選手選択に関する覚書」に調印、高校生のプロ野球入団に関する正常化を実現しました。また、プロ野球選手会の協力を得て、全国でプロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」を開催するなど、プロ・アマ関係の交流促進の礎を築かれました。

当日は、前日の台風の影響で風が強かったものの、大観衆が見守る中、表彰式がバックネット前で行われました。大型ビジョンには脇村さんを紹介する映像が流れ、場内アナウンスで脇村さんの業績を紹介する中、ご本人がグラウンドに立たれました。

はじめに、野球殿堂博物館・斉藤 惇理事長より記念のレプリカ、そして日本高等学校野球連盟・八田 英二会長より花束が贈られました。続いて脇村さんのご挨拶では「野球殿堂入りありがとうございます。これもひとえに皆さんのおかげです」と感謝を述べられたのち、川島 廣守元日本プロフェッショナル野球組織コミッショナー(06年野球殿堂入り)との思い出を語られました。

最後に記念撮影を行い、滞りなく表彰式を終えることができました。

2019年「野球で自由研究！」のご報告

野球で自由研究! 日時 2019年7月12日(金)～8月31日(土) 会場 図書室、イベントホール

内容 野球をテーマに自由研究を行う小学生をサポートし、その一環として、7つの特別イベントを実施した。

協力 ミズノ株式会社、株式会社西武ライオンズ、株式会社読売巨人軍、一般社団法人日本野球機構、公益財団法人東京都軟式野球連盟 (順不同)

「野球で自由研究！」を利用した小学生は647人でその内訳は、小5が最も多く、次いで小4、小6、小3と続きました。中学年から高学年が中心であることは変わりありませんが、低学年の割合が14.7%となっており、これは過去最多で、これまでより調べ学習の低年齢化が進んでいます。

選んだテーマを見ると、身近な野球用具を選ぶ子どもたちが最も多く、歴史、変化球、野球全体について、と続きました。

学年	人数	割合
小1	31	4.8%
小2	64	9.9%
小3	112	17.3%
小4	145	22.4%
小5	154	23.8%
小6	126	19.5%
その他	15	2.3%
合計	647	



学年	野球全体	歴史	用具					変化球	野球場	高校野球	その他
			用具全体	バット	グラブ	ボール	ユニホーム				
小1年	4	0	1	9	1	2	1	2	0	0	11
小2年	4	5	2	9	7	5	2	3	2	2	23
小3年	9	22	5	14	9	5	0	13	3	6	26
小4年	14	13	1	31	14	8	0	13	1	8	33
小5年	9	24	11	25	11	9	2	14	2	5	42
小6年	9	20	7	21	7	5	4	17	3	7	26
その他	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	2
計	50	84	28	111	50	35	9	63	11	28	163

◆ **ミニミニ実験コーナー** 日時 7月20日(土)～8月25日(日) (イベントがある日は除く) 計28日 時間 14:00、15:00 (各回30分程度)

会場 イベントホール

参加者数 1,414名 (1日平均50.5名)

当館スタッフが自由研究のテーマになりそうな話題を紹介する「ミニミニ実験コーナー」を実施しました。ライオンズの山川 穂高選手、ジャイアンツの坂本 勇人選手のバットや、今年3月に引退したイチロー選手、ライオンズの源田 壮亮選手のグラブを使って、バットやグラブの仕組みを説明したところ、子どもたちは熱心に見入っていました。



バットの長さをはかる

14:00～

①変化球のひみつ

風船や紙筒を使って、回転して変化するボールの基本的な原理を説明。

②グラブのひみつ

明治時代(レプリカ)、昭和初期(レプリカ)、イチロー選手、源田選手モデルのグラブを紹介し、昔と今のグラブを比較。

15:00～

①ボールのひみつ

ボールの規則を説明し、硬式ボールと軟式ボールのできるまでを紹介。

②バットのひみつ

バットの規則を説明し、山川選手、坂本選手のバットの長さや太さ、重さを計測。

◆ **野球が100倍楽しくなる 野球の記録をつけてみよう!** 日時 7月23日(火)、8月6日(火) (両日とも10:30～、14:00～)

会場 イベントホール

講師 元NPB セ・リーグ記録部長 石井 重夫氏

参加者数 7/23 午前 22名、午後 13名、8/6 午前 20名、午後 21名

この企画は例年大人気のため、今年も事前予約制で実施しました。363組の応募があり、抽選で選ばれた子どもたちと保護者の方が参加しました。

子どもたちはプロ野球の元記録員から直接スコアの書き方を教えてもらい、映像を見ながら一緒に記録を書き込むといった、普段とは一味違った視点から野球を楽しみました。



◆ 夏休み審判学校！

日時 7月26日(金)、8月5日(月) (両日とも14:00～)

会場 イベントホール
講師 審判長 友寄 正人氏 審判技術指導員 平林 岳氏、栄村 孝康氏
 審判員 牧田 匡平氏 (7月26日のみ)、森 健次郎氏 (8月5日のみ)
協力 一般社団法人 日本野球機構
参加者数 7/26 33名、8/5 41名



昨年は大人気だったため、今年は事前予約制で実施しました。285名の応募者があり、抽選で選ばれた子どもたちが参加しました。

まず、前半の講義では、講師の皆さんから、野球の歴史の話や、現在の審判員の仕事の話、審判員のユニホームの話、審判員の一日や用具などの話、リクエスト制度の話をしていただきました。休憩後、後半では球審のパフォーマンスやコールの実演をしていただいた後、子どもたち全員で球審、塁審の実技を行ったほか、子どもたちは自らの判断でアウト、セーフのジャッジをするなど、学んだことを実践し、熱心に取り組んでいました。

◆ バット製作実演

日時 8月9日(金)、8月10日(土) (両日11:00～、13:30～、15:00～)

会場 イベントホール **協力** ミズノ株式会社
参加者数 9日 1回目 110名、2回目 70名、3回目 90名
 10日 1回目 110名、2回目 70名、3回目 40名

今年は、両日ともに巨人対ヤクルト戦の開催日だったため、小学生を中心に非常に多くのお客様が見学されました。

本年も渡邊 孝博クラフトマンに、バット削りの実演と、原料の木材やバット製作の工程についての話、バット製作の実演、紙やすりかけ体験 (各回2～4名の小学生限定) を実施していただきました。



◆ グラブ先生の夏休み特別授業

日時 8月11日(日) 11:00～、14:00～

会場 イベントホール **協力** ミズノ株式会社
参加者数 午前 子ども 31名、午後 子ども 30名

昨年に引き続き、ミズノ株式会社のご協力による「グラブ先生の夏休み特別授業」を開催、山田 晋平氏が講師を務めました。今年は事前予約制で実施したところ、272名の応募者があり、抽選で選ばれた子どもたちが参加しました。山田氏は、グラブやスパイクの手入れの仕方や製造工程等を、分かりやすく説明して下さいました。質問コーナーでは、グラブを柔らかくする方法や、グラブの色がはげてしまった際の手入れなど、より実践的な質問のほか、ボールやバットに関する質問もあり、子どもたちの野球に対する関心の幅広さが伝わってきました。



◆ 夏休み親子グラブ製作教室

日時 8月19日(月) 14:00～

会場 イベントホール **協力** ミズノ株式会社
参加者数 14組28名

例年同様、事前予約制で実施したところ、今年は468組の応募があり、抽選で選ばれた14組28名の親子が参加しました。

当日はミズノ株式会社の山田 晋平氏、堀内 昇一氏のご指導のもと、約2時間かけて、親指と人差し指の間のウェブの取り付けなど、グラブの形状を作るひも通しの作業を行い、各組とも力を合わせて、世界でただひとつの自作グラブを完成させました。



◆ ボールはなぜ曲がる？

日時 8月26日(月) 14:00～

会場 イベントホール
講師 中京大学 スポーツ科学部 桜井 伸二 教授
参加者数 50名

昨年は大好評で160名の方が参加し、会場が満員となったため、今年は事前予約制で実施しました。285名の応募者から、抽選で選ばれた子どもたちが参加しました。

まず、中京大学の説明、桜井先生ご自身や専門分野についてのお話につき、いろいろなボールを落としたときの様子や回転をかけたときの様子を、映像とともに説明していただきました。

また、フォークボールやジャイロボールの曲がり方についても、わかりやすく説明していただきました。



殿堂入りの人々を語る(65)

やまのうち いくじ
山内 以九士と云う人 ②

山内 了一 (1985年野球殿堂入り 山内 以九士氏長男)

(前号からの続き)



山内 以九士氏

昆虫採集は野球に次ぐ趣味であったかもしれません。息子の私にも仕込もうと思ったのか、幼少のころに与えられた最初の本の1冊が、昭和10(1935)年発行の大杉 栄訳で有名な『ファール昆虫記』でした。冒頭のスカラベ・サクレ(ふん玉ころがし)で、私もすっかり昆虫にとりつかれ、夢中で虫を追っかけることになりました。採集は、最初父に連れられて行き始めました。父は見晴らしの良いところに座り、虫が来るたびに指図してくれるので、私は転げまわるように走り、夢中で網を振りました。お蔭で、野球が中止になって父が松江に戻っている間に、中国山地に分け入り、ウスバシロチョウのような珍品を捕りました。標本作りは細かく教えてくれ、特に肉食のトンボの標本は、まず腹を縦にナイフで切って、内臓を取り出し、あとは和紙でこよりを作って差し込み、頭から腹の先までぴんと伸びて折れないように教えてくれましたので、標本作りはうまくなりました。中学生になって一人立ちしてからは、ラミーカミキリの大発生に会い、その美しさに魅せられ、カミキリ専門になりました。

父は公式記録員として日本各地を廻る頃でも、捕虫網、殺虫管、三角缶を忘れずに携帯し、試合の合間に採集を続け、大阪では貴船や箕面の奥まで虫を追っかけに行っていたようです。北海道遠征では大雪山にまで足をのぼし、静岡では久能山に登り、ツマキチョウを捕ったと喜んでいました。一方私は、年に10回位^{ほうき}伯耆大山に登るようになり、採集を続けていましたが、数年たった昭和22(1947)年6月10日、テツイロハナカミキリという珍しい虫を捕って、カミキリムシ学会で有名になり、この事実が昭和30(1955)年北隆館発行の『日本昆虫図鑑』の初版本に記載され、父を大変喜ばせました。大学の仏蘭西文学科に入った頃もハナカミキリの採集は続けていましたが、昭和23(1948)年奥日光で大発生に会い、森の奥から羽音をたてて飛来するハナカミキリを捕っても、殺虫管に入れる暇がなく、つい花屑と一緒にカミキリを口に頬ばりました。普通の事として行ったこの事を聞きおぼえていた大学時代の友人で、名誉教授になっていた男が、会社勤めを終えた平成11(1999)年、ファール博物記『荒らし屋たち』の翻訳を依頼してきました。平成16(2004)年岩波書店から出版され、続いて平成20(2008)年新樹社という出版社から『ファールの写真集 昆虫』が出版されることになりました。サラリーマンだった私には大変名誉なことで、今考えてみても、父の薫陶の賜で、泉下の父も教え甲斐があったと喜んでいと思います。

金魚の飼育は規模が小さいながらも玄人で、^{らんちゅう}蘭鑄を産地まで買いに行き、夜行列車の中で一匹死なせて悔しがっていました。大きな池を作り、井戸水をくみ上げ温度を上げてから金魚を放し、水換えが大変でした。毎朝どぶ川へ赤虫を捕りに行くのは私の仕事で、それを餌にして大切に育てていました。

長唄は相当なもので、よく唄い、歌舞伎を観、娘たちに藤間流の名を取らせていました。

煎茶は静岡の川根の指定の店から取り寄せ、野球の旅行中も、急須と魔法瓶は離しませんでした。

このように趣味多き人生でしたが、野球の現在の隆盛を見ずに昭和47(1972)年70歳の生涯を閉じました。永く続いた商家を離れ、商売は妻にまかせっぱなしで、色々の不運に遭遇し、借財もふえ、松江の広い一等地も家屋も手放し、ひたすら野球一筋の人生を終えたわけです。その生涯を考えてみますと、明晰な頭脳と緻密な才能は仕事には百パーセント発揮できましたが、人生の生き方はいたって下手な人物であったように思います。しかし大を成す人物とはこのような偏った生き方をせねば出来ないものだったのかと、つくづく考えさせられています。

野球殿堂博物館 トピックス (2019年7月~10月)

7月24日 杉浦 正則氏 寄贈式・トークイベント

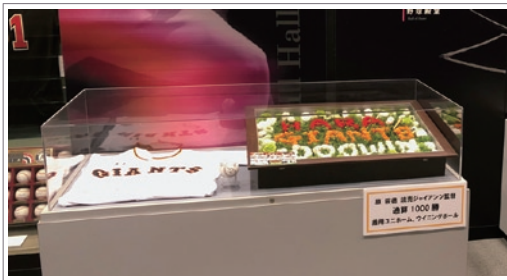
杉浦 正則氏 (2000年シドニーオリンピック日本選手団主将) から、シドニーオリンピックの際の日本選手団のジャケット一式をご寄贈いただき、併せてトークイベントを開催しました。

トークイベントでは、ご自身の野球人生、特に3大会に出場したオリンピックと社会人野球について語っていただきました。たくさんのご来館、ありがとうございました。

杉浦氏 (右) と
聞き手の工藤 三郎氏 (NHKグローバルメディアサービスアナウンサー)



8月11日 原 辰徳 巨人監督 通算1000勝資料展示 10月11日 プレミア12 優勝トロフィー 展示



読売ジャイアンツの原 辰徳 監督通算1000勝達成試合着用ユニホームと、ウイニングボールを球団よりご出品いただき、公開しました。また、9月5日(木)より、記念品のプリザーブドフラワーも展示に追加しました。



本年11月に開催される「2019 WBSCプレミア12」の優勝トロフィーを展示中です。東京ドームにて決勝戦の行われる11月17日(日)15時まで公開予定です。

優勝トロフィーと
侍ジャパン強化部長の
山中 正竹氏 (2016年殿堂入り)

球団デー開催

9月10~12日のファイターズデーをもって、2019年シーズンの球団デーの日程が終了しました。本年は以下の日程で開催し、当日限定の展示や球団マスコットや侍ジャパンのたまべにもご来館いただき、ご好評をいただきました。

<p>ライオンズデー</p>  <p>4/5 (金)、6 (土)、7 (日)</p>	<p>スワローズデー</p>  <p>5/10 (金)、11 (土)、12 (日)</p>	<p>タイガースデー</p>  <p>5/14 (火)、15 (水)</p>	<p>イーグルスデー</p>  <p>5/16 (木)、17 (金)</p>
<p>バイスターズデー</p>  <p>5/22 (水)、23 (木)</p>	<p>ジャイアンツデー</p>  <p>5/31 (金)、6/1 (土)、2 (日)</p>	<p>バッファローズデー</p>  <p>6/18 (火)、19 (水)、20 (木)</p>	<p>ドラゴンズデー</p>  <p>7/2 (火)、3 (水)、4 (木)</p>
<p>ホークスデー</p>  <p>7/8 (月)、9 (火)</p>	<p>カープデー</p>  <p>7/30 (火)、31 (水)、8/1 (木)</p>	<p>マリナーズデー</p>  <p>8/21 (水)、22 (木)</p>	<p>ファイターズデー</p>  <p>9/10 (火)、11 (水)、12 (木)</p>

米国視察報告

業務管理部長 高田 治

2019年9月、私と学芸員の井上 裕太の2名は、当館として3年振りとなるアメリカ視察に行く機会を頂きました。10日に羽田空港から出国し、ニューヨークでヤンキースタジアム、シティフィールド等を訪問。長距離バスでクーパーズタウンへ移動し、米国野球殿堂博物館を訪問。バスと国内線乗り継ぎ、ロサンゼルスでエンゼル・スタジアム・オブ・アナハイムを訪問し、17日成田空港へと帰国いたしました。

9/11(水) ヤンキースタジアム訪問

11日10時からヤンキース職員で博物館担当のブライアン・リチャーズ氏、ダニエル・コーヘン氏、環太平洋地域事業担当のジョージ・ローズ氏にスタジアム内、ミュージアム、メモリアルパークをご案内頂きました。

ミュージアムは、試合開催日に約2,000～2,500人が来館され、年間約30万人が訪れるそうです。訪問時には、「WELCOME TO COOPERSTOWN」と題し、2019年に殿堂入りしたマリアーノ・リベラ投手、マイク・ムッシーナ投手に関する展示を行っていました。

スタジアムのバックスクリーンの下には、ヤンキースの永久欠番となった選手を顕彰するメモリアルパークが設けられ、歴史を大切にしている老舗球団だとあらためて感じました。

今回の訪問目的の1つは、今シーズン活躍した田中 将大投手のユニホームと帽子のご寄贈をお願いする事で、こちらはローズ氏が手配に協力して下さいました。当館展示日が決まりましたら、ホームページにてお知らせいたします。



ミュージアムで行なわれていた「WELCOME TO COOPERSTOWN」の展示

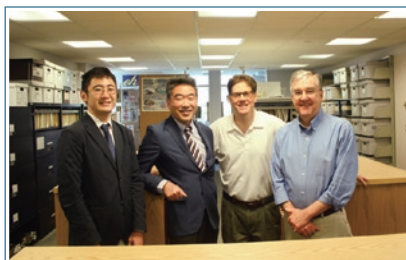


メモリアルパーク

9/13(金) 米国野球殿堂博物館訪問



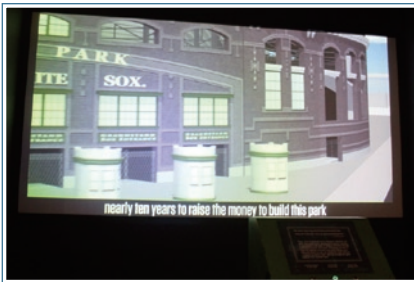
殿堂ホール



図書資料室内にて
左から井上、高田、シーバー氏、ゲイツ氏

13日9時に博物館職員で学芸員のトム・シーバー氏、司書のジム・ゲイツ氏を訪ねました。まず、庄司館長からの親書を、新館長のティム・ミード氏にお渡し頂くようお願いをした後、館内をバックヤードを含め、隅々までご案内頂きました。殿堂ホールの広さや厳格な雰囲気には驚き、資料等を収納するバックヤードの収蔵環境は、大変参考になりました。

博物館の運営についてもお話を伺いました。中でも広報活動としてのSNS活用については、フォロワーが、ツイッター21万人、フェイスブック25万人、インスタグラム52万人もおり、情報発信の効果は高い印象を受けました。当館のツイッター活用状況を説明したところ、写真を多用する事で注目を集め



今はない野球場をCGで再現した展示



MLB30球団のコーナー



多岐に渡る展示内容の一つの野球映画コーナー

る手法等、今後活かせるアドバイスを頂きました。午後からは、1～3階にある広い館内をゆっくりと見学しました。展示の手法や多岐にわたる内容等は大変参考となりました。特に今はなき球場をCGで再現した映像は、写真だけの展示と違い、よりリアルな体験ができました。今後VR等と組み合わせれば、新たな展示手法となる可能性を感じました。

9/15(日) エンゼル・スタジアム・オブ・アナハイム訪問

15日11時からエンゼルス職員で広報のグレース・マクナミ氏、ルーク・篠田氏にスタジアム内をバックヤード含め、ご案内頂きました。

今回の訪問は、大谷 翔平選手へ昨シーズンご寄贈いただいた使用バットと手袋の御礼に「感謝状」と「野球守」を直接お渡しするのが目的でしたが、あいにく大谷選手は私達が訪れた前日に膝の手術を受けており、残念ながら面会する事はできませんでした。「感謝状」と「野球守」は、マクナミ氏よりお渡し頂くようお願いいたしました。後日、大谷選手から感謝のコメントを頂きました。またサイン入り帽子をご寄贈して下さい、館内の野球の歴史コーナーで展示しておりますので、ぜひご覧下さい。

今回の米国視察は、実に貴重な体験でした。習得した知識は、今後の当館運営に1つでも多く反映できるよう、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



コンコースにある2002年ワールド・シリーズ優勝記念コーナー



当館での大谷選手2019年シーズン着用帽子の展示

博物館からのお知らせ

▶ 訃報

1988年野球殿堂入りの金田 正一氏が10月6日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

▶ 博物館オリジナル商品販売開始！

● シャープペンシル0.5mm (本体：水色、白色)

販売価格：800円(税込)

芯が折れにくいゼブラ・デルガードシステムのシャープペンシルです。「水色」と「白色」の2色を販売しております。



● マグカップ (水色/紺色)

販売価格：1,350円(税込)

バットとボールをモチーフにしたマグカップです。「水色」と「紺色」の2色を販売しており、重ねられるスタッキングタイプになります。



※この商品は、一つ一つ手作業で色を塗布しております。そのため、多少色合いが異なる場合がございます。何卒ご了承ください。

▶ 図書室からのお知らせ

12月1日(日)図書室は休室いたします。また、2020年2月に図書整理期間で休室する予定です。詳しくはホームページをご覧ください。

博物館のご案内	場 所	東京ドーム21ゲート右
	開館時間	3月1日～9月30日 AM10時～PM6時 10月1日～2月末日 AM10時～PM5時 (入館は閉館の30分前まで)
	入館料	大 人 600円 (500円) } () は 高・大学生 400円 } 20名以上の団体 小・中学生 200円 (150円) 65歳以上 400円
	休館日	月曜日 (祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中は開館) 年末・年始 (12月29日～1月1日)

《11月・12月・1月の休館日》

11月 18日・25日
12月 2日・9日・16日・23日・29日・30日・31日
1月 1日・6日・14日・20日・27日 (1月14日は臨時休館)

●編集後記 今回のニュースレターは、紙面の都合により「リレー随筆」
「知ってほしいこんな資料」「こんにちは図書室です」は休載しました。

野球殿堂博物館 Newsletter 第29巻 第3号

2019年10月25日発行(年4回発行)
編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館
(旧・財団法人 野球体育博物館)
〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61
Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369
<http://www.baseball-museum.or.jp/>



The Baseball Hall of Fame and Museum

公益財団法人 野球殿堂博物館

特別寄稿 『さようなら、神宮第二球場』 NPB 法規室 室長 伊藤 修久

神宮第二球場が、2020年の東京五輪・パラリンピックが終わってから解体され、跡地には新ラグビー場が建設される計画だという。同球場は、1961年4月、学生野球専用球場としてオープン。2年後の1963年に増改築したが、その際、21世紀型ボールパークのトレンドをなんと半世紀以上も前に取り入れた。1点目は、内野席の傾斜が非常になだらかなこと。防球ネットも高さ60センチのものが最前列にあるだけで、座ってみるとグラウンドが近く、視界を遮るネットがなく、選手との一体感が感じられる。2点目は、内野席後ろのコンコースが広いこと。これにより、1～3塁側間を回遊しながら観戦できるようになっている。

そのほかにもユニークなのは、野球場兼ゴルフ練習場であること。おそらく世界初だと思う。ゴルフボールが場外に飛び出さないように、写真のように高さ48メートルの巨大なネットが圧倒的な存在感を持ってそびえ立っている。アレックス・カブレラ（元西武）でも場外ホームランは無理だろう。



三塁側後方から右翼後方にかけてそびえ立つ防球ネットと、一塁側にあるゴルフの打ちっぱなしレーン。
野球場兼ゴルフ練習場は、世界でここだけ。

広いコンコース。
一塁～三塁側まで歩くことができ、視界を妨げるものがない。
約60年前に、21世紀型ボールパークの流行を先取り。



したがって、1階内野席後方からは、こういうスタイルでの観戦が可能。

東京都高校野球の秋季大会を最後に、約60年の歴史に幕を閉じるといふ神宮第二球場。長い間楽しませてくれてありがとう。そしてさようなら。